

令和6年度 事務事業評価表（令和5年度実績）

令和6年度 事務事業評価表 (令和5年度実績)

事務事業名	がん検診事業費			担当所属	健康づくり推進課							
基本情報	分 野	5 福祉・健康・医療			事業期間	～ 永年						
	基本施策	4 健康づくりの推進			会計種別							
	推進施策	2 特定健康診査・がん検診の推進			実施計画	総合戦略						
事業概要	対象	周南市民										
	意図	がん検診の受診により、早期発見・早期治療に結びつけ、がんによる死亡者を減少させる。										
	成果	がんの早期発見により、早期治療に結びつけがん死亡者が減少する。										
	手段	集団及び個別検診により、胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん検診を実施する。										
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込				
		がん検診受診者数		目標値	人	27500	27500	26700	26700			
				実績値	人	26947	25748	26009	-			
				目標達成度	%	98.0	93.6	97.4	-			
コスト	(単位:千円)	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算						
	トータルコスト	130,731	150,819	150,356	148,220	151,208						
	事業費	119,712	140,022	137,745	135,643	143,574						
	特 定 財 源	国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他	520 0 0 0 0	1,864 0 0 0 0	1,920 0 0 0 0	1,922 0 0 0 0	1,977 0 0 0 0					
	一般財源	119,192	138,158	135,825	133,721	141,597						
	人件費合計	11,019	10,797	12,611	12,577	7,634						
	正職員	11,019	10,797	12,611	12,577	7,634						
	正職員以外	1,055	1,057	1,049	1,016	1,133						
	(事業費集計済分)	(1,055)	(1,057)	(1,049)	(1,016)	(1,133)						
	人員	正職員 (人)	1.54	1.52	1.75	1.73	1.05					
		正職員以外 (人)	1.72	1.40	1.40	1.40	1.10					
環境変化等	開始時の周辺環境	健康増進法に基づき事業を実施。										
	現状の周辺環境	令和2年度より第3次健康づくり計画を推進しており、6種類のがん検診を実施。										
	今後の予想される周辺環境	人口減少及び高齢化に伴い受診者の減少が予想される。										
評価	評価項目			評価	評価の理由							
	妥 当 性	1. 市の関与 (税金支出)		A	健康増進法に基づき、市民にがん検診を実施することで、がんの早期発見につながり、市が関与するべきものである。							
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)		A								
		3. 事務事業の目標 (活動指標等)		A								
	有 効 性	4. 計画の実施状況		B	集団検診でのレディースデーの設置や商業施設での実施等、受けやすい体制を検討し、計画的に実施できた。							
		5. 目標 (活動指標等) の達成度		B								
		6. 上位施策への貢献度		A								
		7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		B								
	効 率 性	8. コスト削減へのさらなる取組み		A	受診券の送付、けんしんガイドの配布、市広報、出前トーク、がん検診啓発イベント等の実施、電話やハガキでの受診勧奨、企業、関係機関との連携等により検診受診者の増加を図っており、実施手段は最適である。							
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A								
		10. これまでの実施手段		A								
	総合評価	A	所管課評価のとおり。									
改革案	今後の実施方向性	維持	受診者数の増加につながるよう、更なる効果的な受診勧奨の手法について検証を行う。									
	成果方向性	成果維持										
	コスト方向性	コスト維持										
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)											
	がんの早期発見・早期治療により、がん死亡者の減少、健康寿命の延伸につながる。											

令和6年度 事務事業評価表（令和5年度実績）

令和6年度 事務事業評価表 (令和5年度実績)

事務事業名	健康管理システム事業費			担当所属	健康づくり推進課								
基本情報	分 野	5 福祉・健康・医療			事業期間	～ 永年							
	基本施策	4 健康づくりの推進			会計種別								
	推進施策	1 健康寿命を延ばす健康づくりの推進			実施計画	総合戦略							
事業概要	対象	周南市民											
	意図	市民の健康状況を把握し、保健指導等に有効活用することによって市民の健康増進を目指す。											
	成果	システムにより市民の健康診査、予防接種などの情報を管理し、保健指導等に活用できた。											
	手段	システムにより、市民の健康診査、予防接種等の情報を管理する。 健診の受診券発送、予防接種、各健診の未受診者抽出、健康相談や保健指導等に対するデータ活用する。											
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込					
		指標なし	目標値										
			実績値					-					
コスト	事業費	目標達成度	%	-	-	-	-	-					
		(単位:千円)	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算						
		トータルコスト	10,918	17,464	10,690	13,164	33,988						
		事業費	8,915	14,836	7,663	10,256	31,952						
		国庫支出金	0	3,293	0	0	0						
		県支出金	0	0	0	0	0						
		地方債	0	0	0	0	0						
		受益者負担	0	0	0	0	0						
		その他	0	0	0	1,320	24,145						
		一般財源	8,915	11,543	7,663	8,936	7,807						
人員	人件費合計	2,003	2,628	3,027	2,908	2,036							
	正職員	2,003	2,628	3,027	2,908	2,036							
環境変化等	正職員以外	0	0	0	0	0							
	(事業費集計済分)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)							
人員	正職員 (人)	0.28	0.37	0.42	0.40	0.28							
	正職員以外 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
評価	開始時の周辺環境		市民の健康診査、予防接種等の情報をシステムで管理するために事業を開始。										
	現状の周辺環境		健診受診券発送、予防接種、各健診の未受診者抽出、健康相談や保健指導等に関するデータを蓄積し、活用している。										
	今後の予想される周辺環境		予防接種や健診等の情報管理を行い、適切かつ効果的に活用できる環境の整備が必要となる。										
	評価項目		評価	評価の理由									
妥当性	1. 市の関与 (税金支出)	A	市民の健康診査や予防接種の情報を管理することで、健康状況を把握することができ、適切な保健指導を行うことができる。										
	2. 事務事業の目的 (対象・意図)	A											
	3. 事務事業の目標 (活動指標等)	C											
有効性	4. 計画の実施状況	A	市民の健康診査、予防接種などの情報を管理し、健診の受診券発送、予防接種、各健診の未受診者抽出、健康相談や保健指導に活用した。										
	5. 目標 (活動指標等) の達成度	B											
	6. 上位施策への貢献度	A											
効率性	7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	A	国との補助金等を活用しながら実施している。										
	8. コスト削減へのさらなる取組み	A											
	9. 類似事業との統合・代替の検討	A											
総合評価	10. これまでの実施手段	A	所管課評価のとおり。今後も適切に情報管理を行い、効果的に活用できるシステム環境の整備に努めること。										
	A												
改革案	今後の実施方向性	維持	引き続き健康管理システムにより、市民の健康診査・予防接種などの情報を管理する。										
	成果方向性	成果維持											
	コスト方向性	コスト維持											
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)												
	システム管理により、市民の健康状況を把握し、健康相談や保健指導等に活用できる。												

令和6年度 事務事業評価表（令和5年度実績）

令和6年度 事務事業評価表 (令和5年度実績)

令和6年度 事務事業評価表（令和5年度実績）

事務事業名		新型コロナウイルス対策費（ワクチン接種等）			担当所属	健康づくり推進課		
基本情報	分 野	5 福祉・健康・医療			事業期間	令和2年度～令和5年度		
	基本施策	4 健康づくりの推進			会計種別			
	推進施策	4 感染症対策の充実			実施計画			
事業概要	対象	周南市民（新型コロナワクチン接種対象者）						
	意図	ワクチン接種により、新型コロナウイルス感染症の発症予防及び感染後の重症化を予防し、まん延を抑制する。						
	成果	ワクチン接種により、新型コロナウイルス感染症の発症予防及び感染後の重症化を予防し、まん延を抑制できた。						
	手段	国の指示のもと、新型コロナウイルスの感染やまん延を防止するために、対象者に臨時予防接種を実施。						
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込
		指標なし	目標値					
			実績値					-
		目標達成度	%	-	-	-	-	-
コスト	(単位：千円)	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算		
	トータルコスト	31,238	1,110,450	867,314	445,272	0		
	事業費	22,294	1,059,308	808,513	402,597	0		
	特定期定財源	国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他	22,294 0 0 0 0	1,052,298 4,280 0 0 2,730	806,867 0 0 0 1,646	402,450 0 0 0 143		
	一般財源	0	0	0	4	0		
	人件費合計	8,944	51,142	58,801	42,675	0		
	正職員	8,944	51,142	58,801	42,675	0		
	正職員以外	974	16,168	14,915	26,969	0		
	(事業費集計済分)	(974)	(16,168)	(14,915)	(26,969)	(0)		
	人員	正職員 (人) 正職員以外 (人)	1.25 0.83	7.20 8.80	8.16 3.65	5.87 5.32	0.00 0.00	
環境変化等	開始時の周辺環境							
	予防接種法に基づいて事業を実施（R2年度開始）。							
	現状の周辺環境							
	R2年度末から初回接種が始まり、3回目接種、4回目接種、オミクロン株対応2価ワクチンによる接種を実施し、全額公費による接種は令和6年3月31日に終了した。							
評価	今後の予想される周辺環境							
	令和6年度から定期予防接種が始まり、この予防接種は、特に重症化を防ぐ目的で65歳以上の方等に秋冬の想定で実施される。							
	評価項目	評価	評価の理由					
	1. 市の関与（税金支出）	A	予防接種法に基づき、新型コロナウイルスの発症及び重症化予防、まん延を抑制する目的で、特例臨時接種として、市が実施主体となり実施しており、妥当である。					
	2. 事務事業の目的（対象・意図）	A						
	3. 事務事業の目標（活動指標等）	C						
	4. 計画の実施状況	B	予防接種法に基づき、集団接種・個別接種を組み合わせながらワクチン接種体制を確保するとともに、市広報、市ホームページ、チラシの掲示、しゅうなんメール等のSNSなどによるワクチン接種に対する情報発進を行いながら、接種を希望する対象者に対する接種は計画どおり概ね実施できた。					
	5. 目標（活動指標等）の達成度	A						
	6. 上位施策への貢献度	A						
	7. 事業成果の向上へのさらなる取組み	A						
	8. コスト削減へのさらなる取組み	A	前例のない事業であり、様々な問題に直面しながら一般接種（12歳以上）、小児接種、乳幼児接種を実施し、実施手段は適切であった。					
	9. 類似事業との統合・代替の検討	C						
	10. これまでの実施手段	A						
	総合評価	B	前例がない事業を大きな問題もなく、また希望する市民にも概ね接種はできていることから、適切な事業を進めることができたと判断する。					
改革案	今後の実施方向性	目的（対象・意図）変更	令和6年度以降の新型コロナワクチンの接種は、個人の重症化予防により重症者を減らすことを目的とし、定期接種（B類）として実施することとなったため、予防接種事業の中に含むこととする。					
	成果方向性	成果維持						
	コスト方向性	コスト維持						
	改革効果（どのような効果が期待できるか）							

令和6年度 事務事業評価表 (令和5年度実績)

令和6年度 事務事業評価表（令和5年度実績）

令和6年度 事務事業評価表 (令和5年度実績)

令和6年度 事務事業評価表（令和5年度実績）

事務事業名		虫歯予防事業費			担当所属	健康づくり推進課				
基本情報	分野	1 教育・子育て		事業期間	～ 永年					
	基本施策	3 子育て環境の充実		会計種別						
	推進施策	2 母子保健の充実		実施計画		総合戦略				
事業概要	対象	周南市民								
	意図	早い時期からの「健康な歯」への関心及び正しい知識の習得と実践により、う歯・歯周疾患の罹患者を減少させる。								
	成果	正しい歯みがき習慣やフッ素の活用等の虫歯予防対策が定着することで、う歯・歯周疾患の罹患者を減少させる。								
	手段	妊産婦や乳幼児・学童が健康な歯を保ち、一生自分の歯で楽しく食べるために、歯科相談やむし歯予防教室、フッ化物洗口を実施								
指標	活動指標	指標名		単位	R3年度実績	R4年度実績	R5年度実績	R6年度見込		
		3歳児健診で仕上げ磨きをしている家庭の割合		目標値	%	80	80	80	80	
				実績値	%	87	86.6	98.4	-	
				目標達成度	%	108.8	108.3	123.0	-	
コスト	(単位:千円)	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 予算				
	トータルコスト	2,829	2,760	3,246	3,494	6,648				
	事業費	2,829	2,760	2,670	3,130	4,685				
	特定期定財源	国庫支出金 県支出金 地方債 受益者負担 その他	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	1,246 0 0 0 0	1,341 0 0 0 0				
	一般財源	2,829	2,760	2,670	1,884	3,344				
	人件費合計	0	0	576	364	1,963				
	正職員	0	0	576	364	1,963				
	正職員以外	0	0	0	0	1,220				
	(事業費集計済分)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1,220)				
	正職員 (人)	0.00	0.00	0.08	0.05	0.27				
環境変化等	正職員以外 (人)	0.50	0.00	0.30	0.30	1.00				
開始時の周辺環境										
母子保健法、第2次健やか親子21、周南市民の健康を支える歯と口腔に関する条例等に基づき、妊娠期や乳幼児期から、正しい歯みがきやよく噛んで食べる習慣により、虫歯予防対策を実施。										
現状の周辺環境										
歯科医師会や幼稚園・保育所、子育て支援センター、母子保健推進員と連携し、取り組んでいる。										
今後の予想される周辺環境										
歯科医師会とさらに連携を強化した取組の実施。										
評価	評価項目			評価	評価の理由					
	妥当性	1. 市の関与 (税金支出)		A	虫歯予防は、「周南市民の健康を支える歯と口腔に関する条例」の目的である。1歳6か月児健診及び3歳児健診時の虫歯罹患率は年々減少傾向にあるものの、3歳児健診時の虫歯罹患率は、1歳6か月児健診時と比較すると増加することから、2～3歳児の間の虫歯予防対策が重要であり妥当。					
		2. 事務事業の目的 (対象・意図)		A						
		3. 事務事業の目標 (活動指標等)		A						
	有効性	4. 計画の実施状況		A	国民運動計画「健やか親子21」による健康行動の指標であり、国の中間目標値75%を超える、最終評価目標値である80%も超える結果となった。					
		5. 目標 (活動指標等) の達成度		A						
		6. 上位施策への貢献度		A						
	効率性	7. 事業成果の向上へのさらなる取組み		A						
		8. コスト削減へのさらなる取組み		A	虫歯の罹患率は年々減少傾向にあるため、これまでの実施手段を継続しながら、より効果的な方法について検討を重ねる。					
		9. 類似事業との統合・代替の検討		A						
	総合評価	10. これまでの実施手段		B						
		虫歯・歯周疾患予防に取り組むために必要な事業である。								
改革案	今後の実施方向性	維持	令和5年度から母子健康診査事業の3歳児歯科健康診査を個別健診にし、歯科医師会へ委託したことで、1歳6か月児健診から一貫した専門的かつ効果的な歯科指導を実施出来るようになった。また、熊毛地区におけるフッ化物洗口法を開始した。							
	成果方向性	成果維持								
	コスト方向性	コスト維持								
	改革効果 (どのような効果が期待できるか)									
市内全域でフッ化物洗口を実施することで、さらに市民の虫歯予防に対する意識が高まり、仕上げ磨き等の予防策に取り組む家庭が増える。										

令和6年度 事務事業評価表（令和5年度実績）

令和6年度 事務事業評価表（令和5年度実績）

令和6年度 事務事業評価表（令和5年度実績）